

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	農業政策課
職	課長
氏名	横山 健太郎

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>・農業者の高齢化が進行し、今後10年間に高齢農業者の大量引退が予想され、農業・農村の維持が危ぶまれる状況となっている。このため、毎年一定以上の新規就農者を確保するとともに、企業の農業参入等により、多様な担い手を確保し、県内農業の維持・発展を図る。特に、平成26年度に創設された農地中間管理事業などを戦略的に活用し、条件不利地域への企業等の農業参入を促進することにより、農地の維持・再生を図る。また、従来から実施してきた担い手の経営発展に向けた取組を更に加速し、担い手への農地集積や法人化を推進する。</p> <p>・農畜産物等の安全・安心を確保する。</p> <p>・消費者ニーズに沿ったブランド化の推進により販売力を強化する。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
<p>①次世代の農業を担うために必要な農業従事者の安定的な確保と資質の向上を図る。</p> <p>②効率的かつ安定的な企業的経営体が本県の農業生産・農地利用の約8割を担うような農業構造の実現を図る。</p> <p>③農業の収益性の向上に向け、他産業のノウハウの活用を図る。</p> <p>④食品の安全・安心の確保を図る。</p> <p>⑤特色ある県産農林水産物のブランド化及び販路の拡大を図る。</p>					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①新規就農者数(上段、単年度)と 農業参入等企业数(下段、単年度)	121人/年 3 社/年	R2年度	120 人/年 5 社/年	R7年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016 上段:新規就農者数 下段:農業参入等企业数
②担い手への農地の利用集積率	62%	R2年度	80%	R7年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
③製造業ノウハウ活用型先進的農業経営体数	37経営体	R2年度	15経営体	R7年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
⑤ブランド品目の販売額	32.8億円	R2年度	45億円	R4年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016



令和3年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①地域の農業を担う多様な人材の育成	農業に関する相談・マッチングや「いしかわ耕稼塾」などの取組により、多様な農業人材の育成を図る。また企業等の農業参入の促進など意欲ある担い手の確保を図る。
②地域の中心となる経営体への農地集積の促進	農地中間管理事業等を活用し、認定農業者等への農地集積や集約化を図る。
③他産業との連携による農業の収益性の向上	製造業の持つ技術やノウハウを活用し、生産コスト削減や収量増加等を図る。
④食品の適正な表示の推進	食品表示法等の関係法令に基づき表示が適正に行われるよう監視、指導を実施するとともに、食品の表示制度に関する知識の普及、啓発を図る。
⑤県産農林水産物のブランド化、販路拡大	特色ある県産農林水産物のブランド認定やいしかわ百万石マルシェ等の開催を通して、県産農林水産物のブランド化の推進や新たな販路開拓・拡大を図る。